



各 位

会 社 名 株式会社アルファクス・フード・システム
代 表 者 名 代表取締役社長 田 村 隆 盛
(コード番号：3814 東証 J A S D A Q)
問 合 せ 先 執行役員 IR・広報室室長 菊 本 健 司
電 話 番 号 0 8 3 6 - 3 9 - 5 1 5 1
U R L <https://www.afs.co.jp/>

業績予想の修正（未定）に関するお知らせ

当社は、2021年7月15日開催の取締役会において、近年の経済情勢等を踏まえ、2020年11月13日に公表した2021年9月期の通期業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2021年9月期通期業績予想数値の修正（2020年10月1日～2021年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 2,500	百万円 320	百万円 300	百万円 258	円 銭 104.73
今回発表予想（B）	未定	未定	未定	未定	未定
増減額（B－A）	－	－	－	－	
増減率（％）	－	－	－	－	
（ご参考）前期実績 （2020年9月期）	1,291	△508	△532	△655	△226.07

2. 修正の理由について

当社はコロナ禍で自動発注システムの稼働時期の延期はあっても、キャンセルは無かった事業環境下で、飲食業界では、人手不足対策システム製品「セルフショット」や、配膳AIロボット、飲食業界以外でも利用できる商材として除菌AIロボット、ウイルスゲート・ショットをリリースするなどして、新型コロナウイルス感染症の影響でダメージを受ける当社の主な取引先（飲食業界）へのリスク回避策として推進してまいりました。結果、3度の新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等がありながらも、2021年9月期第2四半期までは前年比を大きく上回る営業利益で黒字化いたしました。

2021年9月期第3四半期以後においては、商談は進んでいるものの、昨今の半導体不足の影響などから、回避策のAI型ロボット製品・ウイルスゲート・ショットにおいても、納品が延期となっております。また、当社の主な取引先である飲食業界の新型コロナウイルス感染症による、度重なる緊急事態宣言に伴う営業制限下では、月額費用の値引きや納品時期の延期があり、かつ貸倒リスクなども多くなる傾向にあります。

以上のような経済、業界状況であるため、現在のところ、合理的に売上高及び利益を想定することが困難であるため、業績予想は未定といたしました。

今後、業績予想の算定が可能となった時点で、速やかにお知らせします。

また、昨年11月27日に発表させていただきました中期経営計画につきましても、前述のような業界経済環境のため、合理的に売上高及び利益を想定することが困難であるため、来期以降の業績目標は未定とし、今後、業績目標の算定が可能となった時点で、速やかにお知らせします。

以上